

車税等の減免を受けている方を除くとある。県内で同様の制度を行っているところが多いが、自動車税の減免とガソリン代の助成を選択させるところは少ない。市はどのような考えなのか。

自動車税または軽自動車税の全額免除を受けている方は、既に公費による負担軽減がなされているので対象から除いた。人工透析を受けている方は、他の対象者の2倍の助成としている。

地域に伝わる民話で

絵本作成をしてはどうか

問 三条には民話を聞き、それを冊子にした「さんじょうの民話」がある。市民の手によって絵本にしてはどうか。

答 「越後下田の昔話」の本としてもまとめられている。昔話の活用ということでは、下田地域交流拠点施設で昔話を語ってもらおう調整をしている。語り部に直接語ってもらうことは、下田地域を訴えることにもなるのではないかと。絵本にすることについては検討したい。



さんじょうの民話・越後下田の昔話

合併後10年を迎えるに当たり減額される地方交付税

問 平成28年度から地方交付税が現在と比較してどの程度減額されるのか。

答 平成28年度約1億6000万円、29年度約4億7000万円、30年度約7億8000万円、31年度約10億9000万円、32年度約14億円、33年度約15億5000万円減少すると見込んでいる。

訴えなくても解決できたパルム問題

問 職員の交渉能力の欠如と今後の対応

えられる。拡散予測は広域連携になるが、モニタリングポストも含めて、それらを念頭におきながら具体的な検討を進めたい。

布施谷川水系の内水対策

問 排水能力のハード対策が必要ではないか。

答 水系全体はまだ完成途上なので、信濃川も含め県に強く要望していきたい。

国道403号三条北バイパス



国道403号三条北バイパス第2工区と布施谷川架橋予定地

問 県の地権者説明会の状況はどうか。

答 一部地権者への案内漏れなど不手際があった。事業主体である県の出す方向性に依りて、事業促進のため市としても協力していきたい。

森町小と荒沢小の統合、校歌について



来春の統合を目指す森町小学校(上)と荒沢小学校(下)

問 統合準備委員会で、統合後の校舎と校名は森町小学校に、校歌は故諸橋徹次博士作詞の荒沢小学校校歌を一部修正して使うと聞いた。ある委員から「時間が無い、お金が無い、統合後もいずれどうなるかわからない、お金をかけて校歌を新設するのは無駄」と言われているように感じた。聞いたが、事実なのか。博士が作詞した校歌を改変することに違和感を感じるが、どうか。

答 事務局から案を出した。校歌は荒沢小学校校歌を「遺族の了承を得た上で一部修正して使用することにした。

応の甘さ、そして上司の判断力の欠如から、訴えなくても解決できた。にもかかわらず、一市民を訴えるという一番やってはいけない手段を取った結果、さまざまな問題や疑問、不明な点が残る結果となり、お互い後味の悪い、しこりの残る状況を招いていると思うがいかがか。

国道289号八十里越体感バスツアーについて



八十里越体感バスツアー

問 八十里越の完成見通し、現在の進捗状況はどうか。

答 進捗率は69%で、完成の見通しが立

てるような環境にない。

市の原子力防災対策は万全か

問 水源地域にある放射性浄水汚泥の検査と管理はどうなるのか。

答 100ベクレルを超える汚泥が計874トン。他に乾燥前の汚泥計1460トンについて、6月以降にセシウム検査を計画している。安全にシートで保管しているが処分方法は未定である。



三条地域水道用供給企業団敷地内に保管される汚泥

問 原子力防災をどうするのか。放射能拡散シミュレーションを検討してはどうか。

答 今年度内の策定予定である。三条市は30キロ圏外で避難受け入れの地域だが状況により屋内避難や避難も考

パルム1跡地について

委員の中から経費はできるだけ節約し、その分子どもたちのために使ってもらいたいとの意見を踏まえたもの。

問 パルム裁判は新潟地方裁判所三条支部での判決が下され、東京高裁の控訴審も判決が下る。改めてパルム1跡地に第四銀行が出ることで、中心市街地の活性化にどうつながるのか。

答 全くの塩漬けの状態だが、そのときの状況と比較すれば中心市街地の活性化のために寄与できる。



中心市街地の一角で空き地状態が続くパルム1跡地

布施谷川、新川排水路及び貝喰川内水氾濫対策検討会による検討経過について

問 第4回検討会議で中間取りまとめが行われた。吉津川の流下能力は著しく不足しており、その対策として、新川排水路の樋門の早期開門によって事前に水位を低下させることや排水ポンプでの排除、宅地のかさ上げなどが有効というが、県は吉津川の拡幅は難しいということだった。吉津川の氾濫は原因がはっきりとしており、ハード整備がなく市民が安全で安心して暮らすことができないならばならない。検討状況をどう受け止めているのか。



7・29水害時の吉津川(国道403号から下流に向かって)

答 ハード整備の思いは同じであり、しつ